

評価項目		教員の自己評価集計結果		評価委員の評価	
		達成度	留意事項	評価点	留意事項
1	<b>幼稚園教育の基本方針と組織</b> 園の教育理念・基本方針を指導計画に反映している 自身の役割分担を理解し組織的な仕事に努めている 地域の文化・自然を理解し保育に取り入れている 安全・衛生についての知識を有し適切に対応できる	A 92%	コロナの影響で、地域の自然等に触れる機会減少。 コロナの影響で、食育クッキングが減少。年少では食の体験不足が見られるため、家庭への情報発信が必要。 教員の経研年数が増え、子どもの病気やケガへの対応についての不安感がなくなる。	A	コロナ禍であったが、園の基本方針は崩さず実施できた。 食育や異年齢保育など当園らしい活動は、コロナの影響を見つつ今後一層取り組んで欲しい。 ITによる園活動の発信に取り組んで欲しい。
2	<b>保育内容の確認(全体)</b> 幼稚園教育要領を理解し保育に生かすとともに保護者に説明できる 子どもの発達状況を情報交換により理解し、必要に応じて保護者に伝える 会議において積極的に意見を述べる	B 81%	経験年数の浅い教員、非常勤職員に教育要領の理解と目指す「10の姿」の伝達に不安がある。→クラスだより作成時に意識して記載する等の手立てが必要 クラスだよりは担任だけでなく副担任も作成すべき→ITによるドキュメンテーションの活用 発達課題のある子についての園全体で共通理解が必要 ファシリテーションの必要性	B	コロナ禍において園全てでコミュニケーションが取れ同じ目的で進んでいる様子がわかった。 クラスだよりは、目的や結果を明確に載せるべき。副担任のメッセージもあるとよい。 担任以外の教師も子どもと積極的にかかわる姿勢がよい。 クラスだよりはドキュメンテーションのような写真が多いものがよい。
3	<b>保育内容・実務の確認(個々の保育者)</b> 子どもへの言葉づかいや対応は適切である 発達の状況を踏まえ計画をたてるとともに実践においては、子どもの興味関心に応じて柔軟に行う 異年齢でのかかわりに配慮し、環境構成をする その日の保育を振り返り改善に生かす 個人の記録を継続的に行う	A 96%	年齢や子どもの主体性に配慮した言葉がけや丁寧な説明の必要性→～してみようという言葉がけ 園庭遊びにおいて教員同士のおしゃべりが目立つ 他職員との情報交換・記録の共有化→ITの活用 発達課題のある子についての指導計画が丁寧に作成できるようになった	B	満3クラスの朝の支度時に先生の姿がないときがあったので安全面上、必ずいるように務めるべき。 朝の登園時、集合場所に来るのが遅い先生がいるので徹底すべき。 1人1人に合った「声掛け」を心掛けてくれる。 言葉遣いが気になる先生がいる。 朝の園庭遊び時、先生同士のおしゃべりが気になる。情報交換は必要だが、安全面からの不安を感じる。
4	<b>研修と研究</b> 研修で学んだことが保育に生かされている 発達障害についての知識や指導方法を自ら学んでいる いじめ・差別について理解している 発達や学びの連続性を理解し進級、進学について子どもや保護者に伝えることができる	A 96%	リモートによる研修の機会が整う。経験年数の浅い教員や非常勤職員において発達課題の研修の必要性がある ※特にサポートのタイミングなどの具体的な配慮について いじめについて、年齢が低いため学童期以降に起こる「いじめ」とは性格が異なるが、保護者においては「入れてあげない」「あっち行って」等の言葉や行為を「いじめ」と感じる場合があるので丁寧に伝えることが必要 「いじめ」等を含んだ心理的な発達についての学びが必要	A	クラスだよりより「ST遊び」について目的や方法が良く書かれていたため、内容がよくわかった。 小学校1年生で、いじめのニュースがあるくらいなので小さいうちからの対応策など学ぶ必要がある。
5	<b>保護者との関係</b> 保護者と連絡ノート、面談、電話相談により連携を図っている。保護者とともに課題の達成に努める 家庭状況の変化の把握。場合によっては全職員に伝え情報の共有を図る	A 93%	教員のほとんどが保護者との連携ができていていると感じているが副担任においては積極性が必要 家庭状況の把握について非常勤職員において不足を感じている	B	副担任の積極性が必要。 送迎時に話すことはできしたが、1対1の面談の機会が欲しい。人によっては、先生と話す機会がない方がいると思う。 保護者との連携はよくとれていると感じる。

<p><b>6 安全点検</b> 園児の引き受け、引き渡しについて手順を理解し安全に行う 遊具や設備の取り扱いや安全性を理解している 不審者への対応を共通理解している</p>	<p>A 96%</p>	<p>2学期より予告なしの避難訓練を実施 訓練児、教員もヘルメットが必要では？ 不審者対応についての研修が必要 ※マニュアルの確認</p>	<p>B</p>	<p>不審者対応への研修の実施は必要。 東側門の取り替えが必要(フェンスにのぼって開けようとする子がいる) 予告なしの避難訓練は評価できる。</p>
<p><b>7 諸法規の遵守</b> <b>学校保健法・伝染病予防法</b> 感染症などが発生した場合には保護者に伝えるとともに消毒などを徹底し予防に努める アレルギー等個々の健康状況を共通理解している <b>消防法</b> 防災計画に基づいて、防災教育を実施する <b>虐待防止法</b> 虐待について理解し、家庭状況を把握する</p>	<p>A 98%</p>	<p>新型コロナの感染予防のため対応をその都度見直す アレルギーや虐待等の個々の情報については園全体で共有をしている すこやかKIDSの評価についての情報共有が副担も含めてすべき 年少児においては、遊びの中で防災頭巾を使うなど普段からの慣れが必要 年少の水道の蛇口が扱いにくいので取り替えたい なでしこの廊下の掲示物が取れやすいのでかいぜんしたい</p>	<p>A</p>	<p>「すこやかkids」による運動能力・生活面の分析、判定は大変参考になる。</p>

※評価について

達成度	100%	~90%	A
	90%未満	~80%	B
	80%未満	~60%	C
	60%未満	~	D